

第10回日中韓文化コンテンツ産業フォーラムの結果概要

平成29年8月2日

経済産業省



1. 開催概要

- (1) 日程：平成29年6月28日（水）～29日（木）
- (2) 場所：東京ビッグサイト（Content Tokyo 2017と併催）
- (3) 出席者

日本：経済産業省 大串大臣政務官、商務情報政策局 竹内審議官 他
中国：文化部 項（シアン）副部長、同部文化市場司 馬（マ）副司長、
同部対外文化連絡局 王（ワン）局長助理、中国電影合作制片公司
苗（ミャオ）総経理 他
韓国：文化体育観光部 ナ第一次官、同部コンテンツ政策局 キム政策官 他

【6月28日（水）】

① 三カ国政府間会議

- ・ ①3カ国のコンテンツ産業政策・規制等の情報共有を図るポータルサイトを設立すること、②映画祭を含む3カ国コンテンツマーケットを通じた交流作品の増加を目指すこと、③知財保護のための3カ国協同の広報・啓発活動を実施することに合意し、副大臣級で共同宣言文を採択した。
- ・ 次回ホスト国の中国より、今後、3カ国コンテンツの先端技術分野での協力を推進したい旨、また、産業界主導の成果を生み出すべく、各国企業・法律家等の専門家を交えて会合を開催したいとの発言あり。第11回を中国で2018年に開催することで合意。

② ネットワーキングレセプション

- ・ 日中韓副大臣級をはじめ、民間企業も交えた歓迎レセプションディナーを開催。
- ・ (株) KADOKAWA 角川取締役会長、中国電影合作制片公司 苗（ミャオ）総経理、外務省大鷹参事官 他
総勢約180人が出席。

【6月29日（木）】

① オープンセミナー（Content Tokyo 2017イベント）

- ・ 日中韓への展開経験がある有識者を招いての一般向けセミナーを開催。総勢約550人が出席。
- ・ 日本から映画プロデューサーの川村 元気氏（代表作：君の名は。）、中国からTV・映画ディレクターのチャオ氏（代表作：美人魚）、韓国からTV・映画ディレクターのテ氏（代表作：星から来たあなた）が講演。

② 官民合同セミナー

- ・ 関係政府機関（日本：総務省・文化庁、中国：中国電影合作制片公司、韓国：映画振興委員会）も含め政府全体のコンテンツ分野における国際連携策や民間企業のベストプラクティス等を共有。
- ・ 中国側より、2013年設立の上海自由貿易試験区において、ゲームを含む娯楽産業は中国企業と同等の内国民待遇を享受できるほか、テナント貸与等のスタートアップ支援が手厚く、日本企業を含む外資企業が積極的にビジネスを展開しているとの紹介あり。

2. 日中韓産業界のブース出展及びビジネスマッチング

(1) 参加企業（全42社）

① 日本企業

東宝, 東映【映画】, 日本アニメーション, 東映アニメーション【アニメ】, フィールズ【遊興・映像制作】, DeNA【ゲーム】, Sony Creative Products【ライセンス事業】, avex group【音楽】等（全20社）

② 中国企業

Youku【動画配信】他 映画・映像制作, アニメ, ゲーム会社等（全13社）

③ 韓国企業

BLUEPIN(Kakao Kids)【アプリ制作】, WEBZEN【ゲーム】, SAMG ANIMATION【アニメ】, DIGITALIDEA【映像制作】, ライセンス事業社等（全9社）

(2) ビジネスマッチング

- ・ 日中韓の参加企業（全42社）間で計107件の面談を実施。
- ・ 事前に参加企業の要望に基づきタイムテーブルを設定し、効果的に面談を実施。



(3) 参加した日本企業の感想例

- ・ 中国のVisual Effects（視覚効果）に関する映画案件に携わりたいので、これから仕事を一緒にやっていきたい。
- ・ 将来のコラボレーションに向けて非常に良い一歩となった。
- ・ 韓国発キャラクターは日本ではノーマークなのでむしろ面白いかもしれない。
- ・ ビジネスの紹介を聞き、日本でのプランが固まったところで、連絡をもらうことになった。今後に期待。
- ・ 時間が足りなかった。今後、協力会社としてお互いの不得意な所を補完しあい、頑張っていきたい。



中韓企業との新たなビジネス機会の創出に寄与